

この石でできた記念碑は 1876 年の「銀の馬車道(銀山の馬車道)」(現在は銀の馬車道として知られている生野鉱山寮馬車道)の完成を祝うものである。道路は兵庫県北部の鉱山と「飾磨津荷揚げ波止場(現姫路港の一部)」を結んでいた。1865 年の薩摩代表団の一人朝倉盛明(1843-1925)とフランス人技師レオン・シスレー(1847-1878)が 3 年を掛けて完成させた。ひとつの困難な側面は橋で、橋は 49 キロメートルの道路に 20 以上あった。これらの橋で最も難しかったのは藪田橋で、建設が終了したときに生野橋と改名された。この記念碑は新しい道路完成の最大のの障害を記念するため近くに建てられた。